

はにわ通信

No.260 平成 28（2016）年 11 月号

まいぞう
実はまだ、埋蔵文化財
の面からは、松坂城下町の
様子はほとんど解明
されていないんです！



【「考古学から見た松坂の町」について】

「はにわ館」第 2 展示室では現在、特別展「氏郷の城と町～松阪の誕生と発展～」を 12 月 4 日（日）まで開催しています。この展示の中から、「考古学から見た松坂の町」について今回の『はにわ通信』でご紹介します。

※ 1
戦国時代の武将である蒲生氏郷（1556～95 年）は、1585 年から「四五百森」という小高い丘に城を築かせ、1588 年にその新しい城へ入りました。この城下に広がった松坂の町は、現在、「松坂城下町遺跡」となっています。この遺跡では、小規模な範囲確認調査以外の発掘調査は、これまで余り行われてきませんでした。そのため「埋蔵文化財（地中に埋もれ隠れている文化財）」の面からは、松坂城下町の様子はほとんど解明されていませんでした。

※ 2
しかし、2011 年から 2012 年にかけて殿町にある「原田二郎旧宅（以下、原田邸）」の庭園部分で、2016 年 2 月に魚町で、それぞれまとまった広さの範囲確認調査が行われました。原田邸の調査において最も大きな成果の一つは、松坂城の堀跡の確認です。それまで推定されていた堀跡の位置より、約 8m も東にずれていることが分かったのです。また、この調査では、瓦や陶磁器など、破片も含めて数百点の遺物が出土しました。

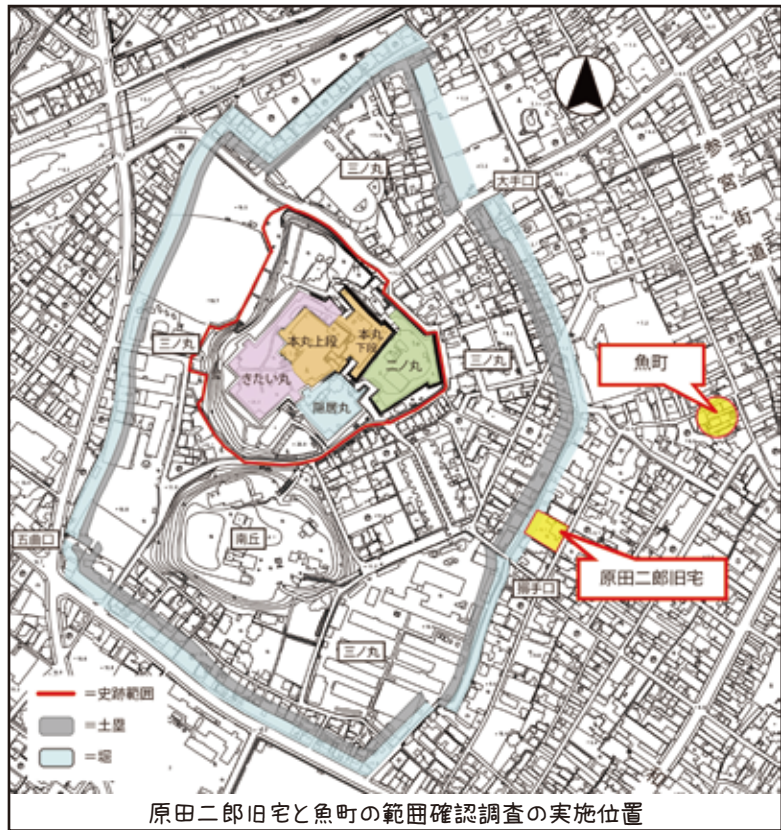
魚町は、1588 年に松ヶ島から松坂に移された町で、松坂城の東に位置し、魚介類などの生鮮食品を取り扱う店が立ち並んだ地域です。今年 2 月の発掘調査では、遺構は確認されなかったものの、瓦や陶磁器片など数多くの遺物が出土しました。

このように近年の殿町と魚町における調査で出土した、江戸時代後期から明治にかけての陶磁器を中心とする遺物は、松坂城下町の姿を解き明かす手がかりとなる貴重な資料群として、注目されています。その実物の一部と詳しい解説は、「はにわ館」第 2 展示室で見ることができます。この機会にぜひ、「はにわ館」へお越しください。お待ちしております！（担当）

※ 1 1889 年、「松坂町」になりました。

※ 2 松阪市殿町に残る旧和歌山藩同心が暮らした武家屋敷であり、明治期に経済人、篤志家（社会奉仕・慈善事業などを熱心に行う・支援する人）として活躍した原田二郎の生家です。

※ 3 “遺構”とは、建物跡など、人間が残した痕跡のうち動かすことのできないものを言います。



【はにわを焼こう……】

ドラム缶を使って、はにわ を焼く方法をご紹介します。

えんとうはにわ けいしょう
円筒埴輪や形象埴輪などを参考にして、自分なりのかたちを作るのが面白い。粘土は市販の野焼き用粘土を使うのが便利。十分に乾燥させてから焼成する。

ふた はな
ドラム缶は二つに輪切りにし、さらに蓋になる部分を切り離す。輪切りにした二つは縦に切込みを入れ、下段のものに空気穴を 4 カ所ほどあける。ドラム缶の底にレンガなどを 4 個置いて、3～4 mm 目の金網を敷く。木片や端材を燃やし、「熾き」を作る。もみ殻を 20 cm ほど

入れてから はにわ と わら、もみ殻を 2～3 層に分けて入れる。ドラム缶いっぱいにもみ殻を入れて、蓋をする。「熾き」からもみ殻に火が回るのにかかる時間がかかり、2 昼夜程度で焼きあがる。中心部分は 800℃程度になり、素焼き程度の焼き上がりになる。焼成の途中にもみ殻からタールが出るので、やや匂う。

かま けむり きわ
ドラム缶を窯のように使うこのやり方は はにわ や土器を焼くのに手軽な方法でもあり、煙の出や火の危険性も極めて少なく、比較的狭い場所でもできるのが利点です。

はにわづくりの会（連絡先：松阪市教育委員会事務局文化課【電話】0598-53-4397）では、はにわ を作る活動をしています。ドラム缶窯を主な焼成方法として、会員や出前教室で作った子どもたちの はにわ を焼いています。会員を募っていますので、関心のある方はご連絡ください。

深まりゆく秋、11 月の文化財センターの市民ギャラリーでは生け花、日本画、洋画、写真、拓本、松阪木綿の作品と多彩な展覧が続きます。はにわ館では、船形埴輪を中心とした常設展示とともに、特別展「氏郷の城と町」を開催しています。文化の秋をご堪能ください。（所長）

文化財センター はにわ館 & ギャラリー 11 月の催し物予定

11 月の休館日は 4 日（金）、7 日（月）、14 日（月）、21 日（月）、24 日（木）、28 日（月）です。

開館時間は 9：00～17：00 です。

【はにわ館】 入館料 100 円（18 歳以下無料） * 入館は 16:30 まで

第 1 展示室 ■常設展「宝塚古墳の謎」

第 2 展示室 ■特別展「氏郷の城と町」 12/4（日）まで

※11/19（土）、20（日）は、「関西文化の日」につき入館料が無料！！

【ギャラリー】 入場無料 * 最終日は 16:00 まで

第 3G ■特別展「氏郷の城と町」関連 講演会 『松坂城跡解体新書』 11/5（土）13:30～15:00

* 座席は 50 席程度（立ち席での入場は可能）

第 1G ■松阪伝統文化 華道子ども教室展といけばなショー 11/6（日）10:00～15:30

第 2G ■グループいずみ 日本画展 11/8（火）～13（日） * 初日は 12:00 から

第 3G ■第 94 回 松阪銀鈴会写真展 11/8（火）～13（日）10:00～ * 初日は 13:00 から

第 1G ■第 45 回 全日写連松阪支部写真展 11/11（金）～13（日）10:00～

第 3G ■第 25 回 マツサカ四五百支部写真展 11/16（水）～20（日）

第 2G ■四五百の森の拓本会 拓本展示会 11/18（金）～20（日）～16:00 * 最終日は 15:30 まで

第 1G ■松阪美術協会 郷土を描く展 11/20（日）～27（日）

第 3G ■花岡公民館 伊勢型紙・水墨画展 11/22（火）～27（日）

* 初日は 13:00 から、最終日は 15:00 まで

第 2G ■松阪木綿手織伝承グループ ゆうづる会 35 周年作品展

11/25（金）～12/1（木）10:00～ * 最終日は 12:00 まで

第 3G ■第 3 回 嬉野フォトクラブ写真展 11/30（水）～12/4（日）

【発行】松阪市文化財センター 【電話】0598-26-7330 【サイト】http://www.city.matsusaka.mie.jp/



バーコード読み取り
（文化財センター情報）